

28年1月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成28年 1月1日～ 28年1月10日

2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
1月分の回答企業数は6社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)=[(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)]÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		28/1月	2月	3月
入荷動向	スギ	60.0	50.0	50.0
	ヒノキ	66.7	33.3	33.3
	カラマツ	0.0	50.0	50.0
	トドマツ	33.3	33.3	33.3
消費動向	スギ	40.0	50.0	50.0
	ヒノキ	33.3	33.3	33.3
	カラマツ	20.0	25.0	50.0
	トドマツ	0.0	0.0	33.3
在庫動向	スギ	0.0	0.0	25.0
	ヒノキ	0.0	△ 33.3	33.3
	カラマツ	△ 20.0	0.0	25.0
	トドマツ	66.7	33.3	0.0

・スギ、ヒノキ及びトドマツ原木の入荷は3ヵ月連続してかなりの増加。カラマツは1月の横ばいから2月、3月は増加。

・スギ、ヒノキ及びカラマツ原木の消費は3ヵ月連続してかなりの増加。トドマツは1月、2月の横ばいが3月は増加。

・スギ原木の在庫は1月、2月の横ばいが、3月は増加。ヒノキは1月の横ばいが、2月減少、3月増加。カラマツは1月の減少が、2月横ばい、3月増加。トドマツは1月、2月の増加が、3月横ばい。

(2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	28/1月	2月	3月
スギ	△ 20.0	0.0	0.0
ヒノキ	0.0	0.0	0.0
カラマツ	50.0	33.3	33.3
米マツ	0.0	50.0	50.0
北洋カラマツ	0.0	0.0	0.0
その他	-	-	-

・スギの原木価格は1月の弱保合が、2月、3月は横ばい。ヒノキは3ヵ月連続して横ばい。カラマツは強含みで推移。米マツは1月の横ばいが、2月、3月は強含み。北洋カラマツは3ヵ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

・先月同様カラマツが集まりにくい。生産に合わせて消費。在庫はほぼ横ばい。
・スギ丸太の入荷を増やし、消費も増やしている。原木置き場は今も余裕はない。
・カラマツ以外は入荷順調。生産増・丸太消費増。カラマツ在庫減少。
・暖冬で山側の生産搬出に問題なく計画通り入荷。全体量はほぼ横ばいだが、1月はヒノキ材の入荷が多少増加傾向にある。生産計画通り消費。全樹種ほぼ横ばいの通常在庫。
・スギ、ヒノキ共に意識して入荷を増やす。1月以降、稼働日が増えてくるので消費は増える見込み。製品の荷動き次第では消費も減る可能性がある。ヒノキに関して消費以上に入荷が増えるかは不安。入荷が増えなければ価格も見直す。

(原木価格)

・カラマツは今まで強含みの横ばいだったが、値上げとなった。
・カラマツ、外材上昇、特にカラマツ。
・国産材価格は変動なし。
・樹種、径級によりやや下落。価格的には1月～3月の間、同価格で推移。
・1月よりヒノキの原木価格を上げた。在庫を増やして行く。

28年1月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		28/1月	2月	3月
生産動向	構造用(9mm)	0.0	25.0	25.0
	〃 (12mm)	0.0	20.0	20.0
	〃 (15mm)	0.0	20.0	20.0
	〃 (24mm)	16.7	20.0	20.0
	〃 (28mm)	△ 16.7	20.0	20.0
出荷動向	構造用(9mm)	40.0	33.3	33.3
	〃 (12mm)	50.0	20.0	20.0
	〃 (15mm)	16.7	20.0	20.0
	〃 (24mm)	33.3	40.0	20.0
	〃 (28mm)	16.7	20.0	20.0
在庫動向	構造用(9mm)	△ 40.0	0.0	0.0
	〃 (12mm)	△ 83.3	△ 20.0	0.0
	〃 (15mm)	△ 33.3	0.0	0.0
	〃 (24mm)	△ 50.0	0.0	0.0
	〃 (28mm)	△ 50.0	0.0	0.0

・合板の生産は、9mm、12mm及び15mmは1月の横ばいが2月、3月は増加。24mmは3ヵ月連続して増加。28mmは1月の減少が2月、3月は増加。

・合板の出荷は全品目で3ヵ月連続して増加。

・合板の在庫は1月は全品目が大きく減少、2月は12mmが減少する他は全て横ばい、3月は全品目で横ばい。

(2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	28/1月	2月	3月
構造用(9mm)	20.0	25.0	25.0
〃 (12mm)	33.3	40.0	60.0
〃 (15mm)	0.0	20.0	40.0
〃 (24mm)	33.3	40.0	60.0
〃 (28mm)	16.7	40.0	60.0

・合板の出荷価格は9mm、12mm、24mm及び28mmは強含みで推移。15mmは1月の横ばいが、2月、3月は強含みで推移。

モニターからのコメント

(合板荷動き)

- ・12mm、28mmは他の製品生産のため生産減。受注はあるが、トラックがとりにくく不安定。トラック手配が出来れば在庫は全品目減となると思う。
- ・12mm、24mmの生産増加と考える。12mm、24mmの在庫減少。
- ・生産は計画通り。厚みによる変動があるものの生産体制に応じ出荷（ユーザー対応）。在庫は減少傾向、1月稼働日数少ないことから品種別に更に減少する可能性あり。
- ・在庫量減少のため、発注状況に合わせての生産。全ての製品で買いが入っているが、生産量に合わせた出荷量となる。在庫が増える状況ではない。
- ・今月休日多く、今後不足分を補うため生産増へ。繰越分含め今後出荷増へ。在庫は少ないまま推移。

(合板価格)

- ・15mmを除いて、単価10～30円アップで販売。
- ・12月末と変わらず、横ばい。
- ・安定的な出荷を図りながら今後の価格上昇に期待。
- ・先行き、上昇へ。